

地域の子育て支援 ・ 交流	一時預かり保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮している。 *実施園のみ 他は斜線		地域子育て支援センターの役割を理解し、子育ての知識や経験、職種の専門性を生かした支援を行っている。	A
	地域社会に対して、保育所に関する情報を開示している。	A	地域・関係機関との共通の課題に対して、解決に向けて協同し、具体的な取組を行っている。	A
	地域の子育て支援の拠点となるために、保育園が有する機能を地域に提供し、地域の子育て支援ニーズを把握・連携するよう努めている。	A	地域住民と交流を図り、協力して利用者が自ら子育てをする力を発揮できるよう支援している。	B
	近隣の小学校の子ども同士の交流活動や情報共有等、連携を図っている。	A	近隣の保育園、幼稚園等との交流活動や情報共有等、連携を図っている。	A

Ⅲ 保育の実施運営・体制全般に係る観点

評価項目		評価	評価項目	評価
組織としての基盤の整備 ・ 社会的責任の遂行 ・ 健康及び安全管理	園長は、保育理念・運営方針について、具体的な内容となるよう明文化し、職員の理解が深まるような取組を行っている。	A	保育理念・運営方針について、保護者の理解が深まるような取組を行っている。	A
	園長は、自らの役割と責任を職員に対して、会議や運営方針で表明している。	A	保育の質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している。	A
	職員間の共通理解と協同性を高め、組織向上のための取組を行っている。	A	運営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	A
	組織運営と保育内容について、定期的に評価を行う体制を整備している。	A	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	遵守すべき法令・規範・倫理等を正しく理解するための取組を行っている。	A	緊急・事故防止・災害時における安全計画を作成し、子どもの安全確保のための体制を整備する取組を行っている。	A
	職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。	A	保育に関わる全ての職員（会計年度任用職員・委託職員等）と連携を取るための取組がなされている。	A
	実習生の受入れと育成が積極的に行われている。	A	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示され参加機会が確保されるよう努めている。	A
	職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A		

【総評】

◎昨年度に引き続き、園目標「心も体も元気な子ども」を叶えるために子ども一人ひとりに寄り添い主体性を大事に保育を進めています。

- ・保育目標にある「自分が好き みんなが好き」「わくわくドキドキ楽しい経験」「自分で選んで自分で決める」に向けて、子どもたちが安心して環境の中でキラキラと輝いて過ごしていけるよう、年齢発達に合わせた丁寧な保育を今後も進めていきます。また、日々の生活・遊びの中での自然な異年齢での関わりから、子どもたちの思いやりや憧れの気持ちが活動意欲の育ちにつながっています。子どもも保育者も「楽しい」「もっとやりたい！」と思える活動や異年齢交流行事を増やし楽しみました。

- ・職員は保育の質の向上に向けての取組を行っています。若手職員もいる中、人材育成を進め日々保育の振り返りを行っています。また、チームで研修を受け、保育の理解を深めるためポスター制作や発表をしました。公開保育では民間園へも伝え、地域の保育の質の向上にも貢献しています。研修等の学びは日々の保育に反映しています。

- ・今年度は第三者評価の受審がありました。利用者アンケートからは主体性のある保育へ温かい声をいただく一方で、「職員が忙しそうに話しかけにくい」「お知らせが不十分」という声をいただき、職員間で共有し改善に取り組んでいきます。発達相談支援コーディネーターによる「みんなできらきらトーク」の会では保護者を交えて語り合う場を設けました。今後も参加しやすい機会を作っていきたいと計画です。保護者の方との日常の対話を大切にしながら、保育園と保護者との連携につなげていけるように今後も努めていきます。